

NPO☆Kyoken



通 信

☆特定非営利活動法人教育研究所(問題行動研究会事務局)84号 平成19年11月15日発行

〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742

URL: <http://kyoken.org/> E-mail: contact@kyoken.org

厚生労働省の事業「若者自立塾」も3年目に入り、来年3月でニート対策事業も終わる可能性があります。普通、国の支援事業は原則3年間です。今までは、国が訓練費(奨励費)を一ヵ月9万円負担していましたが、それがなくなる可能性があります。単純に計算すると3ヵ月で27万円を家庭で負担することになります。生活費は今まで、1ヵ月、7万から9万、家庭でご負担して頂いております。ですから、国の支援がないと、3ヵ月で約60万円程度の負担が掛かることとなります。来年3月までですと、12月末までに入塾しないと、4月からは各家庭負担になりますので、ご利用をお考えの方はお早目ご利用ください。

厚生労働省としては、あと2年延長する概算要求を行っておりますが、財務省がOKするかどうかはわかりません。支援を打ち切られると、自立塾の事業から撤退を考えている団体も数多くあるようです。

景気がやや回復し、失業者数は減少していますが、若年失業者数やニート数の改善はあまり見られていないのが現状です。日本のニートは不登校からのひきこもりとダブるところが多く、対策を立てても問題が複雑に絡み合っているために、すぐには効果が現れないのが現状です。国は予算がないことを理由に打ち切り、家庭教育やしつけの問題であり、家庭が解決しなければならぬと問題をすり替えていく可能性が高いように思われます。

<http://www.konayami.com/index.html>で、横浜市と岡山市の教育委員会の協力によって出来た不登校・ひきこもりのタイプ別判定と簡単なアドバイスがもらえます。是非、チャレンジしてみたいかがでしょうか。

不登校・ひきこもり・ニート&ネット依存脱出短期体験合宿」のご案内

情緒的には大きな問題がないが、人間関係に消極的な新しい不登校の生徒やニートの若者、あるいはネット依存になってしまった子どもや若者の対応の場として、体験合宿の効果は非常に高いということが分かってきました。参加者の方々から大好評だった夏合宿に続き、冬合宿として、当塾の宇奈月若者自立塾を使い開催します。人数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい。

富山県「宇奈月温泉」短期体験合宿 場所 富山県黒部市宇奈月温泉「若者自立塾」

期日 11月28日(水)から12月3日(木)(5泊6日)

目的 ひきこもりやニート、ネット依存の状況から抜け出すことを目的に生活リズムの改善・体力UP・人間関係の改善(コミュニケーションスキルのUP)進路カウンセリングなどを行い。不安感をやわらげさせ自己有用感を持たせるようさせ、新しい学校や学年に動き出すためのフォローUPを図る。

療法 治療レクリエーション・バランスボール・最大酸素摂取量体力測定・スポーツ遊戯療法・などの人間関係スキルトレーニング・就労体験先訪問・カウンセリング、その他

集合 横浜「教育研究所事務所」午前9時 現地「若者自立塾」午後4時
のどちらかをお選び下さい。

対象者 ひきこもりの人、不登校の生徒、ニートの方で若者自立塾の生活を体験してみたい人、ネット依存から脱出したい人など

定員 横浜発3名、現地集合2名

費用 52,500円(横浜発は往復交通費別途10,500円)
天然温泉は塾内にあるので24時間入れます。
申し込みには事前面接(無料)が必要です。

主催/NPO法人教育研究所 <http://kyoken.org/>

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20

TEL045-848-3761(代) ファックス045-848-3742

振込み先、横浜銀行、上永谷支店(323)(普) 口座番号 1442815

加入者名「特定非営利活動法人 教育研究所 理事長 牟田 武生」

----- <申 し 込 み> -----

参加者氏名 _____ (歳)住所 _____

電話番号 _____ 保護者名 _____ 印 _____

この連載文は「教育新聞社・WEBサイト子悩みドットコム」に2005年1月から連載されたもので大きな反響がありました。是非、お読み下さい。

インターネットと若者の心理 第9回

ネットゲーム依存とひきこもり(6)

牟田武生

「ネット依存から抜け出す方法か？」

若者は初めて自分がネット依存であることを認めた。「自分がネット依存であることを自覚することが、最初の大きな山だよ。みんな、自分の好きなことを悪く言われたくないし、それを否定されると、自分自身が否定されたような気分になる。そして、とつても悪いことをしているような気持ちになって落ち込む。それが嫌だから自分を守るために、相手を逆に否定して遠ざける行動を自然に取り、結果的に自分を守ることになる。しかし、まわりの人からは自分の殻に閉じこもって好きなことだけをしているように見える。もし、相手が殻を乗り越えて注意しても悪意にしか感じなくなる。そして、相手がいえば言うほど、自分の趣味に益々、固執していき依存の度合いが強くなっていくことが非常に多いんだよ。だから、自分がネットゲーム依存であることが自覚できれば、最初の山は抜け出したことになるよ」

「それならば、自分がネット依存であることを自覚できない人はどうしたら良いのでしょうか？」

「自分が依存していることに気がつかないのは自覚の問題。良くないと分かっているながらも、止められないのは自制心の問題。どちらも依存に陥ると、コントロール出来ないから依存症といわれている。自覚できないで、状態が悪化していく場合は、やもうえず、強制的に排除するしか、今のところは方法がないんだ」

「強制的に排除するって、どういうことですか？」

「依存しているものを遠ざけ、ネットゲームができない環境にすることだよ」

「でも、先生はいきなりパソコンを取り上げたり、通信回線の契約解除を親がいきなりすると、本人が暴れ出すから良くないと言っていたではありませんか？ どうしたら良いんでしょうか？」

「そこが難しいだよ。そのためにネットゲームをやり過ぎると、ゲームに対して、自制心や自覚がなくなって依存症になるという予防教育が必要なんだよ。でも、まだ、日本ではそんなことは、ほとんどいわれてもないから、予防教育なんて、とつても先のことだよ。勿論、ネットゲーム依存の人に対して、いきなりパソコンや通信回線の契約解除を親が行えば、家庭内暴力が起ころなくても大騒ぎになるよね。さらに、親との関係性も悪くなるからひきこもりがひどくなるような二次症状も起きるこ

ともあるよね。だから、子どもと話し合っ、依存になるから時間制限をするなどの事前の規制をかけながら、どうしても、自覚できない場合は仕方がないけれど、強制排除になるよね」

「韓国では、予防教育も盛んに行われていて、それでも、ネット依存になった場合は病院に半ば強制的に入院させて、治療プログラムを行うことになるんだよ。日本の場合はそんな病院はないから、環境を変える以外方法がない」

「環境を変えるってどういうことですか」

「ネットゲームによって、本来しなければならない会社や学校に行かなくなってしまう。生活のほとんどが、ネットに支配されている状態が続き、自分がネット依存であるという自覚がなく、自制心もなくなった人は、集団生活しながら、仮想社会よりも現実社会の方が楽しいことを分からせることができる環境ということだよ」

「自分一人では、なかなか直らないということですね。自分の経験からも何となく分かります」と若者は答えた。

以下、次回

2005.9.2

※最近、ようやくネット依存の問題や携帯電話でのメールなどの問題が大きくクローズアップされてきました。ネット依存や携帯によるメール依存は親が、気がついた時にはすでに手遅れの状態が多いようです。不登校からひきこもりインターネットの仮想現実にはまり込まないようにしましょう。

NPO法人教育研究所講演会のお知らせ

講演会は保護者や教師など専門家の理解を深める目的で年間を通じて行っています。

「ひきこもりからの自立のプロセスを考える②」

日程/平成19年12月8日(土) ゆめおおおかオフィスタワー内ウィリング横浜 12F 123号室

講師/牟田 武生 教育コンサルタント NPO法人教育研究所理事長

文部科学省「問題を抱える子ども等の自立支援事業審査評価委員」他

横浜市「青少年自立支援協議会委員」

宇奈月「若者自立塾」主宰

ひきこもりは誰かの支援がなければ終わらないと多くの専門家は言います。臨床を長くやってきた私の実感からもその通りだと感じます。さらに付け加えるならば、ひきこもりが長くなればなるほど、その脱出は難しくなります。しかし、ひきこもる本人は自分のことは自分自身が一番よく知っていると自分の世界(主観的な世界)の迷路に入り込んでいきます。

そして、「自立しろ」「バイトでもしたら」「体に良くないから外の空気を吸いに散歩でもしたら」「インターネットだけの生活は体に良くないから、少しは制限したら」などの言葉を親が言おうものなら、「親は何にもわかっていない」と言い暴力を振るうこともあります。しかし、何も言わないでほっておくといつまでもひきこもりの状態が続きます。どうしたら良いのでしょうか?その答えを皆様と考えていきます。

スケジュール

受け付け開始: 13時

第一部 講演: 13時30分~15時00分

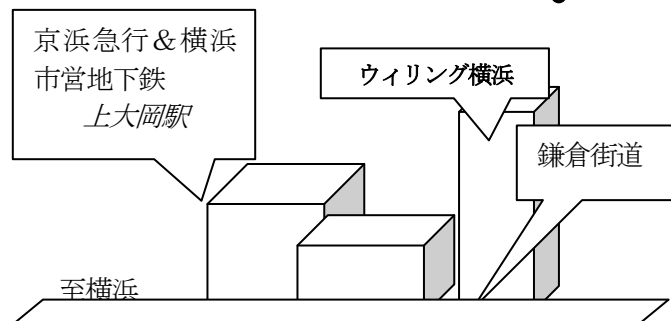
第二部 質疑応答: 15時10分~15時30分

終了: 15時30分

参加費: 無料 (財) 俱進会の支援事業

場所: ゆめおおおかオフィスタワー内

ウィリング横浜123号室 (12F)



若者自立塾個別説明会開催のお知らせ

日程: 平成19年12月8日(土)

時間: 午後3時50分~午後4時50分まで

場所: ゆめおおおかオフィスタワー内

(京急、横浜市営地下鉄上大岡駅徒歩1分)

若者自立塾の現地個別相談・説明会開催のお知らせ

日 程：11月25日（日） 12月2日（日）

時 間：午後1時から午後5時まで

場 所：富山県若者自立塾

※ いずれも予約が必要、個別説明会は045-848-3761（教育研究所）現地説明会は0765-62-9681（宇奈月若者自立塾）まで電話予約してください

※ 自立塾については 財団法人 社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター
<http://www.jiritsu-juku.jp>をご覧ください。

☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆

「毎月5～6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」（卒業生の母より）

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
- ・会員の方ならどなたでも利用可。
- ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。

ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。

毎月第4土曜日午後1時から4時頃まで

NPO教育研究所横浜事務所にて

参加希望者は教育研究所までお願いします



来年度グループカウンセリングのお知らせ

不登校の子ども達やネット依存になってしまった子ども達の理解と対応を学ぶための保護者向けのグループです。学校や社会にいかに復帰するかをテーマとしています。

講師 NPO 法人教育研究所
教育コンサルタント 牟田 武生

・日程（三回完結）

一回目	二回目	三回目
1月16日（水曜）	2月13日（水曜）	3月12日（水曜）

※ 時間は午後2時～4時です

・グループカウンセリング費用

¥9,000（一括前納となりますのでご了承下さい）

グループカウンセリング申込書

保護者名	
本人名	
年齢・性別	
もしあれば在籍校	
住所	
電話	
FAX	
メールアドレス	

- ・参加人数は5名前後を予定しています。
- ・申込みは FAX または郵送で申込書を送付してください。

